

謹 賀 新 年

旧年中は組合の運営と
事業利用に格別のご協力を
賜わり厚くお礼申し上げます
本年も相変わらぬご支援の程
お願い申し上げます

平成二十四年 元旦

神田トラック運送事業協同組合

- 理事長 平岡 祐介
- 副理事長 山岡 政博
- 菅沼 昭次
- 赤尾 進一
- 菅沼 隆義
- 他 役員 同



発行所
東京都千代田区内神田1-12-3
神田トラック運送事業協同組合
電話 3259-9977(代)
FAX 3259-9988

平成二十四年
年頭のご挨拶

理事長
平岡 祐介



新年あけましておめでとうございます。
辰年の今年が皆様にとって、また
神トラにとってもより良い一年
となりますことを祈念いたします。

これまでの企業経営も協同組合
運営も、日本経済の動向を主体と
して考えてこれました。しかし、
年々世界経済の流れにも目を向け
る度合いが高まってきています。

住宅のサブプライムローンに端
を發したリーマンショックは、経
済のグローバル化により、ヨーロ
ッパや日本にも早い段階で影響を
与えました。

昨年から、ギリシャの財政危
機が表面化し、イタリア・スвей
ン・ポルトガルはじめ、ユーロ圏
全体が苦しい局面に突入してしま
した。ユーロの価値も下がり、株
価も低迷しています。成長路線を
邁進してきた中国もヨーロッパ向
け輸出が影響を受け倒産企業も出
はじめました。ロシアでも天然ガ

スの輸出が低減し、政権批判のデ
モが全国90ヶ所で発生し、モスク
ワでは5万人も参加しました。ア
メリカも各地でデモが発生してい
ます。

日本では企業の海外流出が目立
つようになりました。

経済危機による金融政策出動で、
世界各国が財政危機になってきた
だけに、先行き予断を許さない状
況が展開するのではないでしょう
か。

神トラは23年度上半期実績が前
年比約90%となりました。マイナ
ス要因として、東日本大震災に伴
う東北地方の高速道路料金の無料
措置等があり、別納事業収入が大
幅に減ったことが一つです。予算
は厳しく設定しておりましたので
達成できました。経済環境が悪化
し運送業界全体が停滞する中、予
算通りの実績を達成できたのは、
組合員である各社様のお陰であ
ると深く感謝しております。

ここで現在、神トラを主導する
メンバーを手短にお伝えさせてい
たきます。

理事長 平岡が担当させて頂
いております。協同組合に厄介な
問題が発生した時は、事務局任せ
にするのではなく、自分で対応す
る心構えでいます。それに合わせ
副理事長・事務局も常に一体とな
って動いてくれます。

山下副理事長 年長であり、新
年会・総会・旅行でも参加者に暖

かい心配りをし、和やかに楽しい
雰囲気を作って下さり、組合とし
ての結束強化が図れます。

今回の大震災では被害を受け、
同時にご自身もご病気で手術をさ
れましたが、それを乗り越える強
い精神力の持ち主でもあります。

赤尾副理事長 厄介な問題に直
面すると自分が解決する と必ず
前面に出てきて激しく厳しい対応
で解決してくれました。しかし、と
ても優しい心遣いがあり、その後
は先方とも新たな信頼関係を築き
友好関係にあります。神トラビ
ル1階が1年以上空室だったのを、
不動産業者を呼び問題点を手直し
して、すぐにテナントを決めまし
た。また、(株)マルノウチ様・綜
合警備保障(株)様に企業紹介を
お願いし、理事会メンバーにもメ
リットがあり参考になりました。

腹の据わった人です。神トラビ
ルに近い私より、頻りに事務局を訪
問して相談相手を努めています。

菅沼副理事長 神トラの方針を
決める時、問題解決をする時に副
理事長としての確かな意見を出しま
す。お酒をたしなみ、話好きで面
白く、大手企業の方とも話が弾み
ます。数字に強いのも頼りになり
ます。

渋谷副理事長 研修交流委員会
委員長として充実した研修内容を
実施しています。明るく元気で、
声が大きく面倒見のいい人です。

法人会や警察の安協の役職も務め、幅広い範囲で評価され、数字に強く関心もあります。ゴルフはプロ並の飛距離を誇ります。

常任理事の方々にも、大いに貢献いただいています。特に組合の主要収入源である別納事業利用が多い、(株)日本運搬社 船澤社長、中央運通(株) 宮入社長、日本郵便輸送(株) 岩崎業務部長と後任の横山安全推進部長、明治ロジテック(株) 奥会長、三和運送事業(株) 坂井専務には、常任理事にご就任いただき、大所高所のご意見・ご要望をお聞きすることで、協同組合として正しい運営が出来る事有難く思っております。

また、高市常任理事には、昨年・本年と新年講演会に格式ある講師をご紹介頂き、有意義な時間を過ごす事が出来ています。立派な講師の方々がお仲の良いご友人だということも、高市さんのお人柄なのでしょう。昨年社長に就任された新聞輸送(株)の田中社長も多大なご協力をいただいております。

八巻常任理事は、自社で責任あるお立場で多忙でありながら、神トラの会議や会合の司会をはじめ、色々な役割を担ってくださいました。声の大きい事と歯切れの良さは大したものですね。パソコンにも強く、神トラのホームページの立ち上げも引受けていただき、専門業者並みの仕上がりました。

原島常任理事は、若手の期待される人材です。上場企業の専務としてご多忙の中、組合のため誠心誠意尽くしていただき、そのお人柄で高い好感をもたれています。

以上ご紹介しました皆様、そして理事・監事の皆様、及び事務局と力を合わせ、これからの1年に取り組みます。

既にご案内の通り、本年より首都・阪神高速道路料金が対距離制に移行し、被災地復興のため東北地方の無料開放も開始しております。神トラとしては、これまでの実績を確保するのは大変厳しい状況となっておりますが、今後も皆様のお力になれるよう運営していく所存でございます。組合員の皆様には引き続き、ご協力とご支援をお願い申し上げます。

新春特別寄稿

江戸情緒

総合警備保障(株)

警送東京支社

支社長 古野 和之助



新年あけましておめでとうございます。

私は、縁あって大都会東京に昨年4月より居を構えております。若い頃から好奇心旺盛で、全国の赴任した地域の名所旧跡を訪ね歩くのが趣味で、年を重ねた現在でも興味は尽きません。

最近では、いよいよ本年開業するスカイツリーが話題を集め、景気の起爆剤として周辺地域の期待を一身に背負わされている感が否めませんが、新参者の私が長年東京に住まわれている方が忘れ掛けている東京の魅力、ちょっと違う視線でご紹介したいと思います。

それは、江戸時代に武蔵と下総の国境であった隅田川に架けられ、通称で両国橋と呼ばれていたことが、後に地名の由来にもなったと伝えられている本所両国界隈です。

両国駅周辺には、国技館をはじめ回向院、赤穂浪士の討ち入りで余りに有名な吉良邸、芥川龍之介生育の地と歴史ロマンを感じます。

また、早朝の散歩では、相模部屋から力士同士が激しくぶつかり合う稽古の音、習練中の相撲甚句の音、隅田川の川面が奏でる音、庶民的で飾らない魅力があります。

また、少し足を伸ばせば「江戸三大祭」の一つに数えられる深川の富岡八幡宮の例祭があります。別称「水掛祭り」と称号され、神輿の担ぎ手に沿道の観衆からお清

めの水が浴びせられ、江戸の粋を伝承する祭りとして親しまれています。残念ながら3年に一度開催される本祭りは、未だ観賞していませんが、歴史的な伝統を守り抜く風情と人情を感じずにはいられません。

私も警備業という職業柄、365日24時間この大切な下町を守り抜くよう「ALWAYS IN SECURITY」で貢献して行きたいと思っております。

私の趣味について

(株) マルノウチ

管理部長 八巻 信行



新年あけましておめでとうございます。

前回が裁判員という堅い投稿でしたので、今回の投稿は私の趣味について書かせて頂きます。

私はパソコンを利用したゲームが大好きで、初めてのパソコンは1982年に購入したシャープのX1というカセットテープからゲームを読み込んで遊ぶコンピュータでした。当時のコンピュータ雑誌に掲載されていたBASIC言

語のゲームプログラムを入力して、やっと遊ぶ事が出来たり、何時間もかけて入力してもゲームが動かなかったりと、大変苦労をしてゲームを楽しんでいました。

その後、フロッピーディスク装置が装備されたパソコンが主流となり、ランダムアクセスが可能となり、ゲームも高度な内容へと進化を遂げました。友人とゲームのコピーはどうすれば出来るか、情報交換をしたものでした。フロッピーディスクからハードディスクへと、コンピュータの進化は加速度的でした。

インターネットが普及し、今ではオンラインゲームが世の中の主流となっておりますが、実は私も平成十五年に始めて今も続けているオンラインゲームがあります。

元々は息子が遊んでいたゲームだったのですが、私自身もネット上にキャラクターを作成し初めてのオンラインゲームを体験しました。

ネット上に造られた世界を歩き回り、モンスターと戦い、アイテムを拾い、仲間とパーティーを組んで冒険を続け、ネット上のキャラクターを育てるというゲームで、オンラインゲームを運営している会社によると、日本国内で十万人以上が遊んでいるとの事で、ネットの世界でグループを作り、リーダーを選び、グループ同士が連合を組んだり、現実社会と同じよう

な組織構造が作られます。ネット上のグループには現在三十名が所属しています。連合メンバーと合わせて約五十名の人が毎日入れ替わり、立ち替わりオンラインゲームを楽しんでいます。八年間このゲームを続けて来ていますので、当然メンバーの方々と現実社会で会いませんかと話になります。

私たちのグループもオフ会と言って、実際に新宿や上野で会ってお酒を飲んだり、カラオケに行ったり、ボーリングをしたり、の交流会を行いました。サラリーマン・大学生・OL・主婦と様々な世代の方々が在籍している事がわかり、オンラインゲーム中での信頼関係も深まりました。

当然、オンラインゲームですから、日本全国いろいろな所からログインしてゲームを楽しんでいます。北海道・東北・関西と地元の話がゲーム中に飛び交うのもオンラインゲームの楽しさのひとつです。チャットと言って、ゲームを行いながらキーボードから文字を打ち込んで会話をしている様に楽しむのですが、初めの頃はキーボード入力が遅くて、なかなか会話について行けませんでした。キーボード入力が早くなれたのはオンラインゲームをやったお陰です。メンバーの中には長時間オンラインゲームを続けていて、明らかにゲーム依存症の方もいて、メン

バーが交替で注意をしたり、大学へ行かないでオンラインゲームに熱中している方とか、夕飯の支度をしないで遊んでいて旦那さんに叱られたとか、いろいろな人間模様が見えたりと違ったおもしろさも味わえるのがオンラインゲームです。

オンラインゲームを楽しむ年齢としては高齢である事をメンバーの皆さんはご存知なので、多少チャットの会話が遅くても許してもらっています。バーチャル世界の若い人達との交流が、多少でも現実社会で役立てばと思いいオンラインゲームを続けています。

大変、『ゲームオタク風』の投稿でお恥かしいのでこの辺で終わらせて頂きます。

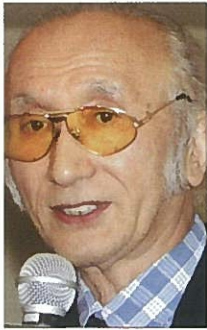
オートマツチク車の

怖さ

丸大運送 (株)

社長 志賀

鐵夫



年寄りだから・・・と世間では良く云われますが、年寄りにかぎらず誰でも一度や二度はブレーキとアクセルを踏み間違えた経験が

あるかと思えます。

たいていの人は直ぐそれに気が付くので事故に繋がらないのだと思います。先日、TVの報道番組で踏み間違いによる事故を起こした現場より中継があり、現場のキヤスターが、お年寄りは間違いを起こしやすいので特に注意をするようにと報道していました。

私自身も少し前、ブレーキとアクセルを間違えて踏んで、車が急にバックした事がありました。幸い近くに人や車が無かったので事故に至らずよかったです。一歩間違えば大事故になっていた可能性あったかと思いい、今でもゾッとします。

では、なぜブレーキとアクセルを間違えるのか、その原因となると、ほとんどの人が明確な答えをしていません。機械的な故障とか、アクセルが戻らなかつたからとか、靴がペダルに挟まかつたから等。ほとんど抽象的な答えばかりで余り納得性がありません。

これは私の独断と偏見ですが、今までの経験から少し答えのようなものを見つけましたので、これが完全な答えではありませんが、感じたままを書いてみました。

オートマ車でトルクの強い車に乗った時、ブレーキを踏んでいても車は前や後に常に動こうとしていますので、かなりの力でペダルを踏みます。催物会場のパーキン

グ場や屋上パーキング等、少し長く前後に動かし所定の場所に止めようとする時、トルクがあるのでブレーキに足を乗せています。(例バックする時)ギヤーをRに入れた後進したとします。ブレーキペダルを踏んでいるのですが、少し足を放すと車は動きます。廻りの状況に対処して踏み、放す、又踏み、放す。この動作を繰り返している内に、頭の中でいつのまにかブレーキペダルがアクセルペダルに変わってしまうのです。それで最後に止まろうとする時、踏んでいるのがブレーキペダルだと勘違いして、となりにあるアクセルペダルを踏んでしまうのではないのでしょうか。本人はもう慌てていますから、益々強くアクセルペダルを踏んでしまうようです。私もこの現象を起こしてしまいました。車はすごい勢いでバックしはじめましたが、一瞬対応が早かつたので、車止めの前で止まり何事もなくすみました。

人間の頭は常に正確で正常ですが、同じ動作を繰り返すことによつてはとんでもない間違いを引き起こす時があるのだなと思いいます。これは単に年寄りばかりではなく、若い人も常に起こりうる現象だと思いいます。

以上、あくまで私自身の体験したことです。少しでも参考になれば幸いです。

上方 莞

企業の社会貢献宣言

明治ロジテック (株)

会長 奥 賢二郎



私は旧東京牛乳運輸が現在の会社になる前は、関西の運送会社に五年限勤務しておりました。親会社の工場長から運送会社の社長に変わってからの五年間で、当初は関西のこと・運送事業のこと・経営のことなど分からないことだらけで、一体どうやってこの会社の舵取りをしたら良いのかと途方に暮れておりました。

そんな折、縁あって(社)関西経済同友会に入会することとなり、何度か会合に参加する機会を得ました。その当時企業あるいは企業経営者の不祥事が続発しており、同会でも盛んに企業の社会貢献について言うコンプライアンス、CSRが議論されておりました。つまり、大阪は昔からの商都であり大阪商人・近江商人などが何代にも亘つて、信用第一で顧客を大事にして商売を發展させてきた土地柄なので、その先達の商売の心得を抽出して、今日的な社会貢献宣

言としてしようと言うわけです。

私はこの議論に参加する中で、関西の歴史を知り、大阪商人の心意気を知り、経営のあるべき姿を学びました。従前大阪の商売はケチで厳しいと思っていた私にとっては、目から鱗の体験でした。

現在では私の座右の銘となっており、この「上方発 企業の社会貢献宣言」によって、曲がりなりにも合併後の会社の方向を示し、従業員同士の融和を図り、会社業績の安定化に繋がったものと自負しております。その一部をご紹介します。

【浮利にはしり軽進すべからず】
「売ればよい、儲かったらよい」だけでなく、確かな品質、環境にやさしく、社会的弱者も利用できる消費者に益となる製品やサービスの提供を通じて、社会に貢献することを第一とする。

【始末してきばる】
無駄を省くと共に、技術やマネジメントの革新を通じてコストダウンを図り、納得できる価格で提供し、自らも又適性利潤を獲得する。

【三方よし】
売り手よし、買い手よし、世間よし。グローバル化した企業活動の影響が、広範囲に及ぶことを認識し、広く世界の様々な人への配慮を欠かさない。

わが故郷

群馬県下仁田町
日本ジオパークに認定
(株)マルカン
会長 赤尾 昭次



私の生家のすぐ裏手が、地質学的に重要な地層・地形などを見どころとする「自然公園」「ジオパーク」(下記辞典参照)の国内認定機関「日本ジオパーク委員会(JGC)」より「日本ジオパーク」に認定されました。県内初、関東では伊豆大島に続き2例目のことです。これを機に下仁田町では、町自然史館(博物館)の準備や自然観察路の整備などを進め、2、3年後をめどに「世界ジオパーク」の認定を目指しております。

下仁田地域は妙義山の奇岩や石門群、天然の冷風を利用して蚕の卵を保管した国指定史跡「荒船風穴」、岩の上に別の地層から移動してきた山林がかぶさっている様子

から「根無し山」と呼ばれる、世界でも珍しい「跡倉クリツペ」などがあります。

日本ジオパーク認定を契機に、町は集客の受け入れ態勢整備や交流事業を進め、首都圏に近いことを訴えながら、地域の活性化につなげ年間10万人の誘客を目指します。

私も「下仁田町観光大使」の任命を受けておりますので、組合員の皆様がお越し頂けること、切にお願い申し上げます。

(豆辞典) 2004年にユネスコ支援で「世界ジオパークネットワーク」が設立。地球や大地を意味する「ジオ」と公園の「パーク」による造語で、その地域の地形、地層、岩石などから大地の歴史を知ることのできる自然公園。日本ジオパーク委員会の審査を受ける事で「日本ジオパーク」に認定されるほか、世界ネットワークへの加盟申請が可能となる。

【おすすめのお店】
下仁田町にお越しの際は、道の駅しもた内内の「食堂けやき亭」に是非お立ち寄り下さい。中でも、地元産のこんにゃくを使った「こんにゃく定食」がお薦めで、一見するとステーキや刺身、そばなど豪華な内容だが、ご飯以外は全てこんにゃくの大変ヘルシーな定食です。

秋の研修旅行

研修交流委員会
委員長 洪谷 隆義



平成23年度の研修旅行を11月18日(土)に泊二日で行いました。今回は中山道木曾路の宿場町散策をメインに美人の湯で有名な昼神温泉に宿泊する企画でした。旅行には総勢19名が参加、初日は秋晴れの元、秋葉原を大型バスで出発、途中中央高速の諏訪湖サービスエリアで湖を眺めながら休憩、駒ヶ根の光前寺と養命酒の工場、飯田の水引き工房の見学をしました。その後早めに昼神温泉の旅館「吉弥」に到着、肌によさしい温泉を堪能してから宴会となりました。美味しい料理に大満足。カラオケ大会で盛り上がり楽しい宴でした。

翌日はあいにくの雨でしたが、

タイムスリップした様な江戸情緒の残る妻籠宿と馬籠宿の石畳を、傘を差しながら散策できたことは思い出に残る旅行となりました。

平成24年度も楽しい企画を考えていきますので、是非多くの組合員の皆様に参加していただくようよろしくお願いたします。

お知らせ

○1月上旬、お年賀の御挨拶に代えて、恒例により三越から粗品をお届けいたしましたので、ご査収下さるようお願い致します。

○平成24年の新年会は1月24日(火) 飯田橋のホテルメトロポリタンエンドモントで開催いたします。是非ご出席下さるようご案内いたします。

○新年会開催と併せ、研修交流事業の講演会を開催いたします。講師には、前在ジュネーブ国際機関日本政府代表部大使 北島信一氏をお招きしました。新年を迎えた今回の講演会では、外務省で経済交渉に長年携わってこられた北島信一氏に、TPPを含めマルチの経済外交の現状について、講演をお願いいたしました。

なお、新年会、講演会のご案内は昨年未だ案内済みですが、出欠通知(申込書)は1月13日(金)迄にお願致します。